

### 3 学期始業式 校長講話

[令和3年1月5日(火)]

新年あけましておめでとうございます。

今年も、「はるちゅうタイム」や、ふだんの関わりを通して、お互いの気持ちが通じる春木中学校にしましょう。「あいさつ、うなずき、指示を聴く」の3つを、大事にしてください。

さて、短い冬休みでしたが、みなさんはどのように過ごしましたか。

私は、スポーツ観戦を楽しみました。

1/3(日)に行われた高校ラグビーの準々決勝、東福岡高校と東海大大阪仰星高校との対戦は、試合時間を20分延長しても決着がつかない激しい試合でした。引き分けの場合は抽選というルールのため、惜しくも東海大大阪仰星はベスト4を逃したのですが、全てを出し切った両チームの選手たちの表情は、勝ち負けを超えた充実感や満足感で一杯でした。

また、大学生が走る箱根駅伝もドラマがありました。往路は創価大学が優勝、復路は青山学院大学が優勝、総合優勝は駒澤大学という大混戦でした。駒澤大学のアンカー石川くんの走りは、どんなに不利な状況でも最後まで諦めてはいけないことを教えてくれました。

さて、今日から3学期がはじまります。ラグビーに例えたら試合の残り15分、駅伝だと最終の10区といったところでしょうか。この3学期を最後まで頑張りきることに、または気持ちを新たに生活を立て直すことで、令和2年

度の価値が決まりますし、来年度の飛躍へとつながります。それをやるのは、他の誰でもなく自分です。人生の主人公はいつでも自分です。

「あのとき、最後までやりきったから今がある。」とか、「あのとき、思い切ってやり直したから今がある。」とか、将来に言える3学期にしてください。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症は、依然として収まっていません。登校前の検温、マスクの着用、こまめな手洗いに引き続き全員で取り組んでください。また、マスクでお互いの表情は見えませんが、マスクの下は笑顔をお願いします。「楽しいから笑顔になる」のですが、一方で、「笑顔になるから楽しい」というのも事実です。行動が感情を変えてくれます。

皆さんにとって、充実した3学期になることを、心から願っています。